

委員会の行政調査報告

福祉文教委員会

委員長 櫻井直樹

行田市の人口減少対策は、 「こどもまんなか子育て支援」

7月8日に埼玉県行田市を訪問し、「子育て支援事業」について、行政調査を行った。

行田市では、2000年以降、人口減少が深刻化し、特に出産・子育て世代の市外転出が懸念される。

そこで、0歳から18歳まで切れ目なくサポートする「こどもまんなか子育て支援」として、医療費の無償化を始め、所得制限のない3歳未満児保育料無償化を実施し、また「こども誰でも通園制度」の試行実施にも取り組んでいる。

人口や予算規模が、本市とほぼ同等な行田市は、最重要課題を人口減少に歯止めをかけるこ

ととし、そのための子育て世代を支援する施策は、とても参考になった。



行田市にて

授業の形態が、まったく違う 飯能市の教育

7月9日に埼玉県飯能市を訪問し、「学びの共同体」について、行政調査を行った。

飯能市では、令和3年度より、誰一人漏れなく、児童生徒の学ぶ権利を保障するため、「学びの共同体」の理念により、学びの改革を推進してきた。互いの声を聴き合い、学び合いながら、難しい課題（ジャンプ課題）に

も挑戦し、「質と平等」を同時に追求する授業を市全体の小中学校、全教科の授業で実現させている。実際の授業を参観し、教師は教えずに、子どもたち同士で考えさせる授業に驚かされた。そして「子どもたちに、どんな力を付けさせるか、生涯的にどのような力を身に付けさせるか」という考えを教職員が共有している」という指導主事の言葉が印象的であった。飯能市の教育を受けた子どもたちの将来が、とても楽しみである。「学びの共同体」という学習形態について、更に研究を深め、本市の教育に生かしていきたい。



飯能市にて

委員会のYouTube配信を始めましたので是非ご覧ください

来庁しなくても委員会における議案等審査の状況を速やかに知ることができるよう、令和6年第3回（6月）定例会から、尾張旭市議会のYouTube公式チャンネルにおいて、委員会のライブ中継及び録画映像の配信を行っていますので、是非御活用ください。

●閲覧方法

市議会トップページ→委員会中継（ライブ・録画）・音声データ→YouTubeへのリンク

●ライブ中継

委員会開催中の映像をライブ配信します。

●録画映像配信

ライブ中継終了後、いつでも視聴可能。

※パソコンだけでなく、スマートフォンからも御覧いただけます。



▲YouTubeリンク